



WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2020

～和歌山県民のメンタルヘルスを改善せよ～

報告書

目次

- 1.団体概要
- 2.私たちの目指すゴール
- 3.代表挨拶
- 4.メンバー紹介
- 5.プログラム概要
- 6.3ヶ月の軌跡
- 7.シンポジウム概要
- 8.審査結果
- 9.チーム紹介
- 10.メディア掲載実績
- 11.アイデアシート
- 12.協賛企業一覧
- 13.ご支援くださった皆様へ

1.団体概要

学生団体WAKA×YAMAとは

2018年5月、和歌山にゆかりのある学生が集い創設された。
和歌山県において不条理な生きづらさをなくすため様々な活動に励む。
現在メンバーは16名。

Our Vision

不条理な生きづらさをなくす

Our Mission

和歌山県における社会問題を解決する

Our Strategy

「若(WAKA)者のアイデアで病(YAMA)いをなくす」をモットーに
若者から地域へ働きかけることで持続可能な課題解決策を生み出す
またそのような次世代リーダーを育成する

Our Value

若者ならではの視点と行動力で地域密着型のイノベーションを起こす

2. 私たちの目指すゴール

GOAL : 自分と周りの人を幸せにできる人を増やす

WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2020



一般向けのシンポジウム



専門家の協力のもと大学生が運営する
中高生向け教育プログラム

メンタル不調により引き起こされている自殺の現状

日本

10～39歳の死因
第1位は自殺

4人に1人が
本気で自殺したいと
考えたことがある

和歌山県

2018年自殺率
全国ワースト1位

世界

40秒に1人が自殺

メンタル不調により引き起こされている自殺の現状

日本

10～39歳の死因
第1位は自殺

4人に1人が
本気で自殺したいと
考えたことがある

厚生労働省が2017年に出した人口動態統計によると、10～39歳においての死因は自殺が1位だった。

また、2016年に行った意識調査アンケートでは「本気で自殺したいと思ったことがある」と答えた人が成人の4人に1人の割合でいた。

年 齢	第1位	
	死 因	
総 数	悪 性	新 生 物
10～14	自	殺
15～19	自	殺
20～24	自	殺
25～29	自	殺
30～34	自	殺
35～39	自	殺

厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）『人口動態統計』による

厚生労働省の人口動態統計によると、2018年の自殺率ワースト一位は和歌山県だった。

和歌山県

2018年自殺率
全国ワースト1位

また、自殺率の全国平均が16.1(人/10万人)であるのに対し、和歌山県は21.2(人/10万人)と非常に高い水準であった。

全国の自殺者数の傾向は9年連続減少傾向にある。しかし、和歌山県は近年増加傾向にある。

和歌山県の自殺者数の傾向を細かく見ると、高齢者層は減少傾向にあるが中高年層・子供若者層に著しい増加傾向が見られた。



世界

40秒に1人が自殺

世界では毎年80万人以上が自殺、つまり40秒に1人自殺している。

WHOが2014年に出した統計によると、15-29歳の死因第2位である。

SDGs(Sustainable Development Goals)2030年にむけ国連の承認した持続可能な開発目標の目標3-4では「2030年までに予防と治療により非感染性疾患による3分の1の早期死亡を減少させ、精神的健康の保持増進と満たされた状態（well-being）を促進する」とあり、

自殺というのは和歌山だけではなく日本、世界の重要課題である。



3.代表挨拶



中尾陽菜

経歴

慶應義塾大学法学部法律学科1年

2001/10/20生まれ 智辯学園和歌山高等学校卒

2018.8 WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2018 準優勝

2018.9～ ほっと！スペースプロジェクト 代表

2019.3 MY PROJECT AWARD 2018 全国優秀賞

2019.12 U23サミット参加メンバー選出

2018年度、自殺率全国ワースト1位の和歌山県。

気候もよく温かい人が多い和歌山でなぜ、自殺しなければならぬほどに苦しむ人が多いのだろう。私たちが生まれ育った和歌山県で、幸せに暮らせる人を増やしたい。そんな思いで、今年のテーマを「メンタルヘルス」に決めました。

私自身、一昨年のWAKA×YAMA SUMMER IDEATHON の卒業生です。地元である和歌山県で課題解決に真摯に向き合った経験は、それまで志のなかった私を大きく成長させてくれました。私が代表としておこなってきた「ほっと！スペースプロジェクト」では、当時高校生だった私たちでも困っている人々の役に立つことができると実感することができました。その後、AO入試を通して、日本には学校では習わない社会問題がたくさんあること、これからの日本を担う私たちだからこそ若い頃からそれらの社会問題に向き合わなければならないことを痛感しました。

そんな経験をしてきたからこそ、和歌山県の中高生にも、社会問題について若いうちから考えて欲しいと強く望んでいます。

これまで3ヶ月をかけ、メンタルヘルスをテーマに課題解決に取り組んできた全11チームがシンポジウムで発表いたしました。教育プログラムやインタビューを通して、私たち大学生と共に目の前の課題に真摯に取り組んできた成果を、広く和歌山県の方々にお見せできたこと、大変嬉しく思っております。

WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2020の開催にあたりご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

4.メンバー紹介



中尾陽菜
慶應義塾大学法学部法律学科1年



鳴神和真
帝塚山学院大学キャリア英語学科3年



西平大輝
和歌山県立医科大学医学部医学科5年



春本克太
和歌山県立医科大学医学部医学科5年



植田綾那
上智大学総合人間科学部心理学科1年



松木順平
和歌山県立医科大学医学部医学科3年



奥野真世
東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科1年



冷水詩音
和歌山県立医科大学医学部医学科1年



森川莉瑚
東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科1年



中村佳乃子
東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科1年



大谷丈瑠
東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科1年



川端直斗
和歌山県立医科大学医学部医学科1年



中田朝陽
和歌山県立医科大学医学部医学科1年



南畑穂乃
東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科1年



木村健太郎
University College London
修士課程 教育心理学専攻



山崎稜大
和歌山県立医科大学医学部医学科1年

5.プログラム概要

- ・主催 学生団体WAKA×YAMA
- ・テーマ 和歌山県民のメンタルヘルスを改善せよ
- ・期間 2020年7月5日～9月13日 （教育プログラム）
2020年9月21日 （シンポジウム）
- ・内容 今回の教育プログラムはコロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、9月21日のシンポジウム以外の教育プログラムについてはすべてオンラインにて実施した（@zoom）。アドバイザー、サポーターの支援のもと大学生が中高生向けの教育プログラムを運営し、参加を希望する中高生（計24組）に対して面接による選考を実施した。応募して選考に合格した11組（計35人）の中高生が7月5日から9月21日の期間で精神科医師やカウンセラーなどに対してヒアリングを行いつつ、和歌山県民のメンタルヘルスの課題を見つけてそれに対して解決策を考えた。

教育プログラムは以下の7つで構成されている。参加する中高生と大学生メンターの顔合わせをするキックオフDAY、課題のを見つけ方を実践的に身につける課題設定DAY、ゲストのアドバイスを元に解決策を考えるソリューションズDAY、プレゼンのコツを学ぶプレゼンテーションDAY、途中経過のアイデアを発表する中間報告DAY、アイデアをさらに詰めていくアイデアブラッシュアップDAY、プレゼンの練習をするプレゼン練習DAYである。以上をオンラインにて行い、その成果を和歌山JAビルで開催されたシンポジウムにて発表した。（各教育プログラムの詳細については後述する。）
- ・申し込み人数 応募:24チーム 合格:11チーム

日付	コンテンツ
6月下旬	面接
7月5日(日)	キックオフDAY
7月24日(金)	課題設定DAY
8月2日(日)	ソリューションズDAY
8月8日(土)	プレゼンテーションDAY
8月16日(日)	中間報告DAY
8月30日(日)	アイデアブラッシュアップDAY
9月13日(日)	プレゼン練習DAY
9月21日(月・祝)	シンポジウム

・アドバイザー



柳川敏彦様
和歌山県立医科大学
保健看護学部長



東睦広様
日本赤十字社和歌山医療センター
精神科部長
NPO法人
心のSOSサポートネット理事長



藤敷庸一様
NPO法人白浜レスキュー
ネットワーク理事長



寺本将行様
一般社団法人
inochi未来プロジェクト
理事

・サポーター



岡本光代様
和歌山県立医科大学
保健看護学部講師



伊藤忠弘様
パナソニック株式会社
インキュベーションサークル
BOOST



勝山陽太様
社会福祉法人一麦会
ソーシャルファームピネル
紀州fukushiイベント
発信局代表



村田七海様
和歌山県立医科大学
医学部医学科4年
学生団体WAKA×YAMA
創設者

・後援

和歌山県・和歌山市・和歌山県教育委員会・和歌山市教育委員会
和歌山県精神保健福祉士協会・NPO法人心のSOSサポートネット
株式会社テレビ和歌山・株式会社和歌山リビング新聞社

・協賛

株式会社ワオ・コーポレーション・ユタカ交通株式会社・ビーフレンズ株式会社
株式会社イエステージ・株式会社南北・刀祢税務会計事務所
いらなみのりこメンタルケアクリニック・株式会社スマートホーム
和歌山県民主医療機関連合会・あい向・古宮克人・医療法人久仁会宇都宮病院
株式会社ちひろ・株式会社信濃路・農事組合法人黒沢牧場・株式会社Crop

6.3ヶ月の軌跡



キックオフDAY 7月5日(日)

キックオフDAYは初めての顔合わせだった。チーム紹介やメンター紹介、今後のプログラムの説明などを行った後、峯上良平様に講演をしていただいた。うつ病がどのようなものなのかをスライドを用いながら分かりやすく教えて下さった。中高生も積極的に質問していて、非常に学びの深い回になった。



課題設定DAY 7月24日(金)

inochi未来プロジェクト推進委員の清元佑紀様に来ていただき、デザイン思考について講演をしていただいた。Miroというアプリを用いてチームで意見を出し合い、自分たちの身の回りの課題を発見し、解決策について考えた。また、実際にプロトタイプを作ることで、デザイン思考について実践的に学ぶことができた。



ソリューションズDAY 8月2日(日)

学生団体WAKA×YAMAの創設者である村田七海様と、inochi学生プロジェクトでコアメンバーをされていた西川登偉様に来ていただいた。村田様には今中高生に意識して欲しいことやアイデア思考の流れを、西川様にはプロトタイプを作成する際の方法や流れを主にエンジニアリングの観点から講演していただいた。



プレゼンテーションDAY 8月8日(土)

次回の中間報告会に向けて、代表の中尾陽菜より、文字の大きさや色、グラフやヒストグラムの使い方など効果的なプレゼンの方法・プレゼン資料の作り方を教えた。その後、ブレイクアウトルームに移り、学生メンターや社会人メンターから、参加者のアイデアやプレゼンテーションをより良くするためのフィードバックをした。



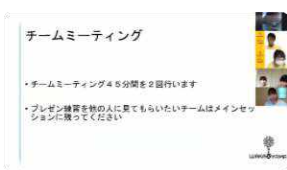
中間報告DAY 8月16日(日)

プログラム開始後の成果をパワーポイントを用いて発表した。審査員は東睦広様、岡本光代様、村田七海様の3名に務めていただいた。各チームのプレゼンを様々な観点から評価し、上位3チームには今後の活動で使用するための助成金を授与した。



アイデアブラッシュアップDAY 8月30日(日)

それぞれのチームに新しい意見を取り入れるべく、他チームとの意見交流会を行った。11チームを大きく3つのチームに分け、他のチームと質問・意見・アドバイスなどをし合った。他の人の意見を聞くことで、新しい発見や視点を見つけ、自分たちの解決策・プロトタイプの考察をさらに深めることができた。



プレゼン練習DAY 9月13日(日)

次週に迫ったシンポジウムに向け、これまでいただいたアドバイス等も踏まえて、解決策やプロトタイプをブラッシュアップさせた。また、PowerPointの作成とプレゼンテーションの練習をした。

7.シンポジウム概要

- ・主催 学生団体WAKA×YAMA
- ・事業名称 WAKA×YAMA SUMMER IEDATHON2020シンポジウム
～和歌山県民のメンタルヘルスを改善せよ！～
- ・開催場所 和歌山JAビル
(COVID-19の影響により招待制。また入場制限あり)
- ・開催日時 2020年9月21日(月) 12:30-16:20
- ・タイムライン
 - 《オープニング》 12:30-12:40
 - 《プレゼン前半》 12:40-13:50
(1.チーム浦島 2.ひまわり 3.Moderato 4.チーム新高 5.friss)
 - 《プレゼン後半》 14:00-15:10
(6.Gandhara 7.マインドラップアップ 8.岩本2+ななみ2 9.COLOR 10.WAKAICHI 11.Fulgari)
 - 《講評》 15:20-15:30
 - 《表彰》 15:30-15:50
 - 《政策提言》 15:50-16:05
 - 《エンディング》 16:05-16:20
- ・出演
 - ・学生団体WAKA×YAMA
 - ・中高生、大学生
 - ・有識者の皆様
- ・対象 学生、一般市民、教育・福祉関係者、健康・医療関係者
- ・入場料金 無料
- ・観覧料金 無料
- ・一般観覧方法 youtubeでのリアルタイム配信またはオンデマンドでの視聴。(事前申し込み必要)
- ・審査員



柳川敏彦様
和歌山県立医科大学
保健看護学部長



東睦広様
日本赤十字社
和歌山医療センター
精神科部長
NPO法人
心のSOSサポートネット理事長



宇都宮越子様
NPO法人
健康とコミュニティを
支援するなるこみ 代表理事
医療法人 久仁会 宇都宮病院
理事
(MBA・看護師・薬膳アンバサダー
認定講師)

・来賓

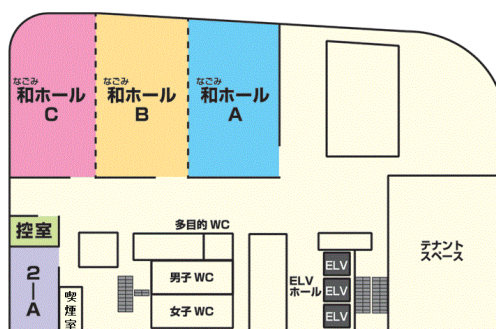


山下直也様
和歌山県議会議員

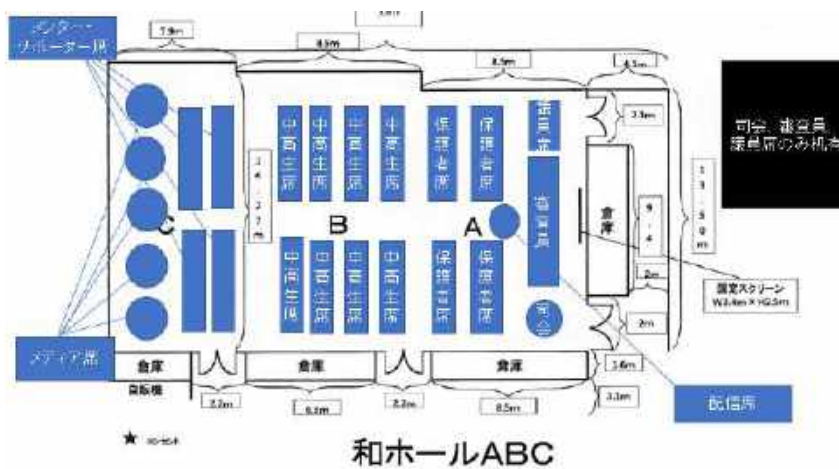


玉木久登様
和歌山県議会議員

・ロケーション



・会場レイアウト



・会場風景



・政策提言 若者と行政で創る～WAKA×YAMAのメンタルヘルス 2020～

和歌山県議会福祉環境委員会委員長玉木様にご登壇していただき、弊団体より冷水詩音、山崎稜大が登壇、進行を中田朝陽が行った。冷水・山崎によるスピーチを行ったのち、玉木様からご講評をいただいた。最後に提言書を冷水より玉木様へ進呈した。

〈スピーチ概要〉

2018年度和歌山県は人口当たりの自殺率が全国ワースト1位になった。これを受けて和歌山県では既存の自殺対策に加えて様々な施策・会議を行ってきた。しかし和歌山県の自殺者の過半数は65歳以上の高齢者であることから、会議などで話し合われる議題はその高齢者の自殺対策が主であった。しかし高齢者に比べると自殺者数は少ないが、毎年一定数の若者が自殺をしまっている。将来の和歌山、日本を担っていく無限の可能性を秘めた若者が若くして命を絶ってしまうことはあってはならない。また若者は成長途中であり多感な時期であると共に、若者の抱える問題が学校や家庭などの限られた関係の中での認識で終わってしまうことが多いことなどから、行政に若者の現状・声が届きにくい。そこで弊団体として何かできることはないかと考え、「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2020」を開催し、この政策提言を作成した。この政策提言では現在和歌山県で行われている自殺対策施策に対して、若者の視点から提言を挙げた。現行の政策に若者の声が反映されることで、より若者の自殺対策にも実用的で効率的な対策が行われると考える。さらに若者の声をこの政策提言で終わらせることなく、これをきっかけにして持続的に届けていこうと考えている。



8.審査結果

シンポジウムで行われた中高生のプレゼンテーションは、以下の8項目で評価・採点した。

- ・課題設定の適切さ
- ・明確さ・解決策設定の適切さ
- ・面白さ・新規性
- ・社会(和歌山県)に対するインパクトの大きさ
- ・実現可能性
- ・インタビュー数と成果
- ・プロトタイプ作成とフィードバック
- ・わかりやすい説明か、発表者の熱意が伝わるか

柳川敏彦様、宇都宮越子様、東睦広様のお三方に審査をしていただいた。中高生による8分間のプレゼンテーションが終了した後に、2分間の審査員2名による質疑応答を行い、最後に各8項目の採点を行っていただいた。



1位 COLOR (岡田華奈・湯川舞夢)

「SOS発信プロジェクト」

概要

中高生を対象にSOS教育を行う

SOS教育について学んだ生徒自身が翌年下の学年の生徒にSOS教育を行うことで継続的にSOS教育が行われることを可能にする



2位 Fulgari (下田朋花・城七海・杉本花・花谷百華)

「LINE公式アカウント【コトバのなる木】の開設」

概要

ポジティブ変換

ユーザーが送ったマイナスなワードをポジティブな文章に変換する

ストレス診断

ユーザーに対して10項目のストレスチェックを行い、点数化してストレス度を測る



3位 Gandhara (早川詞茄・楠間英莉伽・加藤伊織・冷水勇之助)

「Forest Program」

概要

中高生主体のワークショップ一日かけて信頼・共助をテーマに人との接し方・議論の仕方を学ぶ人を支えられ、力になれる学生を育成する

9.チーム紹介



1.チーム新高
(和歌山県立新宮高等学校3年)
本館愛果 裕美和子
メンター:山崎稜大



2.ひまわり
(和歌山県立向陽中学校3年
有田市立保田中学校1年)
佐原花音 寺岡昊汰 中村壮汰 佐原希咲
メンター:森川莉瑚



3.マインドラップアップ
(智辯学園和歌山中学校1年)
山田ひらり 豊田杏梨 藤浪遥菜 山崎早恵
メンター:西平大輝



4.COLOR
(智辯学園和歌山高等学校2年)
岡田華奈 湯川舞夢
メンター:奥野真世



5.チーム浦島
(和歌山県立橋本高等学校3年)
亀田委尚 浦口愛
メンター:鳴神和真



6. Moderato
(開智高等学校1年)
吉田愛 田中郁未
メンター:中田朝陽



7.friss
(智辯学園和歌山高等学校1年)
田中友貴 藤原宏香 沈寅翊
メンター:春本克太



8. WAKAICHI
(開智中学校3年)
山内杏 小泉佳菜 中嶋理子 米田彩雪
メンター:冷水詩音



9.岩本2+ななみ2
(和歌山県立田辺高等学校2年)
泉奈々美 岩本佳子 岩本真央 鈴木七海
メンター:中村佳乃子



10.Gandhara
(和歌山県立桐蔭高等学校1年)
早川詞茄 楠間英莉伽 加藤伊織 冷水勇之助
メンター:南畑穂乃



11.Fulgari
(和歌山県立橋本高等学校2年)
下田朋花 城七海 杉本花 花谷百華
メンター:川端直斗

10.メディア掲載実績

▶テレビ：2回

媒体名	番組名	日付
テレビ和歌山	6wakaイブニング	5月28日(木)17:30～
テレビ和歌山	6wakaイブニング	9月21日(月)17:30～

▶新聞：8記事

媒体名	見出し	日付
和歌山新報	県民の心の健康改善へ 学生団体WAKA×YAMA	5月16日(土)
読売新聞	メンタルヘルス 中高生議論を	5月29日(金)朝刊
ニュース和歌山	サマーアイデアソン「県民のメンタルヘルスを改善せよ」	6月6日(土)
毎日新聞	自殺防止コン 参加募集	6月10日(火)朝刊
朝日新聞	参加の中高生チーム募集	6月11日(水)朝刊
毎日新聞	相談しやすい環境づくりを 中高生が自殺防止策発表	9月22日(火)朝刊
読売新聞	心の健康 中高生が熱弁	9月24日(木)朝刊
朝日新聞	心の健康守れ 中高生ら探る	9月24日(木)朝刊

▶ラジオ：5回

媒体名	番組名	日時
和歌山放送	てっきゅう先生のサタデーナイト	6月6日(土)20:30～21:00
和歌山放送	ワンダーランドの全開！火曜日	6月16日(火)14:15～
FM87.7	和歌山ミライ研究所	7月2日(木)22:00～
和歌山放送	TONPEIの今夜もうたWAナイト	9月13日(日)22:00～
和歌山放送	てっきゅう先生のサタデーナイト	9月19日(土)20:30～21:00

▶その他：4媒体

媒体	媒体名	見出し	日付
webサイト	まいぷれ	若者ならではの発想力で、和歌山の社会問題の解決に挑む！	6月10日(水)
webサイト	朝日新聞デジタル	心の健康 若者目線で考えよう	6月11日15:16
YouTube	フクシのみらいデザイン研究所	若者の力で課題解決/学生団体WAKA×YAMA	10月9日(金)
地方紙	わかやま探検ミュージアム	広告	8・9月号

↓5月16日和歌山新報



↓5月29日読売新聞



↓5月29日6wakaイブニング



↓6月6日ニュース和歌山



↓6月10日毎日新聞



↓9月21日6wakaイブニング



↓6月11日朝日新聞



↓6月10日まいぷれ

↓9月22日毎日新聞朝刊

↓9月24日読売新聞朝刊



↓8・9月号わかやま探検ミュージアム



↓9月24日毎日新聞朝刊



↓フクシのみらいデザイン研究所
(YouTube10月9日配信)

